

特集 “教会, 生まれ変わる空間”

ニュースレター Vol.18で特集したキリスト教会のリモデリング工事が終盤を迎えています。今回のニュースレターでは、生まれ変わる空間をダイジェストでお伝えしたいと思います。

ガランとした倉庫の空間で、着工式が行われました。和やかな雰囲気ながらも、これから始まる未知の工事内容に緊張も漲ります。牧師さん始め、信者の皆さんの期待がヒシヒシと感じられ、大きなプレッシャーを感じます。

まずは、既存の仕上げ等の撤去から始まります。10年位、空き家だった事務所と倉庫です。取り壊しながら、慎重に既存の状況を把握します。

幸い、ベースとなる建物はしっかりしており、大きく予想外の事態は避けることができました。実はこの建物、YKKの大館営業所でした。大手建築資材メーカーですので、使用されている材料は良い物ですが、それなりの部材の劣化は避けられません。

不要な既存仕上材は撤去し、改修工事が始まります。当然予算も限られますので、使える下地等はそのまま利用します。うまく既存に馴染ませていく、というのもリフォーム・リモデリングでは大切な要素になります。

そして、教会は徐々にその姿を現してきます。設計者とは言え、完成後の姿を100%イメージできるわけではありません。現場に行くと、新たな発見や感動があります。

やがて工事は完成に近付きます。ワイルドな無垢のフローリング、スイス天然氷河粘土の塗り壁、照明、ステンレス無垢の十字架など、素材感のある材料全てが一体化して一つの空間を創りあげます。

造り付けの家具や、運び込まれる備品によっても空間の印象は大きく異なります。このような施設であっても、住宅であっても同じです。デザインに大きなこだわりを持つ牧師さんとは、礼拝堂の椅子、カフェのテーブル、講台、サインなどについて、何度も打合せを重ね、慎重に選定されました。設計者がイメージする空間を、最大限に尊重していただいたとき、本当に感謝しています。



改修前の倉庫の状態。着工式。



既存仕上材の取り壊しから始まります。



倉庫の大きなシャッター部に新しい壁を造ります。



礼拝堂の天井下地。軽量鉄骨を組んでいきます。



オープンカフェ。キッチンを囲む壁。奥に礼拝堂が見えます。



礼拝堂の床組み。正面には十字架が仮付けされています。



ファサード。最低限の設えで教会を印象付けます。



最終打合せ。ルーバーの上から光が・・・。祝福の光？小林監督と加藤。

NEWS



ブログ等でもお知らせしました通り、この度ホームページをリニューアルしました。1998年に開設以来の、全面的リニューアルです。

実はリニューアルプロジェクトは、5月から取り掛かったのですが、それまで10年掛かって築き上げた以前のHPを構築し直すのは、容易ではありません。

途中、予期しない事務所の移転や、当然行わなければならない日常の業務などで、なかなか進行しない時期もありました。

ようやく11月1日、ゴロのよいその日に間に合わせたくて、必死の追い込みで、とりあえずの完成をみました。

しかしながら、あくまでも「とりあえず」であって、HPは常に見直し・更新を続けなければ何もしない、ということには自分が一番よく知っています。

レンタルではありますが、独自のサーバーも用意し、やっとネットを使っていく上での環境が整った、という感じがします。

今後も、皆様のご意見や感想なども参考にしながら、「永遠のベータ版」ではありますが、改良を続けたいと思います。

【スタッフの日常・非日常 vol.06



こんにちは。スタッフの渡部です。11月吉日、快晴。新しい事務所に、「秋田建築専門学校」の学生さんたちを招いて、少し遅めの引越パーティをしました。というのも、実は彼らが引越しの手伝いをしてくれたのです。しかもボランティア。最初は「手伝いいるかな？」とか思っていたのですが、やってみると何となく膨大な本の量で、棚に入っているのを見ると、それは見えないけど・・・とにかく、彼らのおかげで本当に助かりました。ありがとうございます！というわけで、乾杯！事務所の無駄な広さも、この時はかり役に立ちました。にぎやかです。完食。ごちそうさまでした。

【今月のマテリアル



スプルス三層フローリング

住宅の床材として、よく採用します。通常のフローリングは、ベニヤの上に0.2~0.3ミリ程度の化粧シートを貼り付けたようなものですが、これは厚さ15ミリが三層で構成され、表面材の厚さも4.5ミリ程度あります。寸法安定性を高めつつ、無垢の木の良さも併せ持っています。見た目や足触りの良さがありますが、表面が柔らかいので、傷が付きやすいというウイークポイントもあります。「傷」を「味」と思える方は、よいのではないのでしょうか。

【編集後記

みなさん、こんにちは。前号のニュースレター配信直後から、怒涛の引越が始まりました。10月10日には、エアコン・ストーブ・コピー機・NTT移設など、主に設備関係、翌11日は引越し屋さんによる荷物の移動でした。丸1か月経過し、荷物の整理もほぼ終わり、ようやく落ち着きを取り戻しつつあります。その間、引渡し間近の現場もいくつかあり、渡部とアチコチ走り回る日々でした。そして気が付けば、ニュースレターの配信日目の前・・・完成した建築もいくつかあり、早く皆様に紹介したいと思うのですが、時間に追われるばかりでなかなか時間が取れません。これから年末にかけて徐々にアップし、お正月にもご覧いただきたいと思えます。えっ、お正月！？来月の今頃も、かなりヤバそうです。(笑) それでは、次回もお楽しみに。



今月の加藤一成。レアなシーンです。Photo byワタナベ

Web Site

- Home トップページ
- Profile プロフィール
- Concept コンセプト
- Service 業務案内
- Works 設計事例
- Conference 無料相談

ニュースレター  
「建築家の日常・非日常」  
発行責任者：加藤 一成

株式会社 加藤一成建築設計事務所  
TEL. 018-831-4315  
FAX. 018-831-4316  
HP. http://www.isei-design.com  
BLOG. http://isei-design.cocolog-nifty.com/  
MAIL. info@isei-design.com